

デンソー労働組合 執行委員長の轟川でございます。
す。

本日は公私ともにご多用の中、デンソー労働組合
創立 80 周年記念式典にご臨席賜り、誠にありが
うございます。



ご来賓の皆様をはじめ、今日まで労働組合を支えて
くださった OB・OG の皆さん、現役の職場役員の皆さん、また日頃から組合活動にご理解
とご協力をいただいております会社経営層の皆さま、そして組合員とそこご家族の皆さ
ん、
すべての方々のお力添えがあったからこそ、私たちは今日という節目を迎えることができ
ました。心より厚く御礼申し上げます。

本 80 周年のテーマは「感^{かん}導^{どう}」です。これは「感謝」と
「導く」という二つの言葉を掛け合わせたものです。

私たちが今ここに立ってられるのは、諸先輩方が「労
使相互信頼・相互責任」の精神を大切にされ、数々の難
局を乗り越えてこられた歴史があるからです。その歩み
に深く感謝の意を表するとともに、先輩方が道を切り拓
いてこられたように、現役である我々もまた未来を導く
存在であり続けたい、そして次の世代へ確実に襷を繋いでいきたい。この「感導」には、
そうした強い思いと意志が込められています。

80年の
感謝を胸に、
未来へリード



現在、自動車産業は大きな転換期を迎えています。ライバルとの競争激化に加え、産業の
魅力低下、さらには社会全体の課題である労働力不足など、課題は山積しております。し
かし、そのような環境下においても、デンソーグループに集う仲間一人ひとりには、技術
の力、技能の力、そして何より「ものづくりへの情熱」という揺るぎない精神が宿ってい

ます。この力がある限り、私たちはどのような時代の変化にも屈せず、グループ全員でより良いものづくりを追求していけると信じております。

労働組合としても、デンソーグループで働く者にとって、これからの時代に何が大切なのか、そして何を大切にし、取り組んでいくべきなのか、こうした問いに向き合っていく必要があると考えております。

これまでの当たり前を是とせず、皆で考え行動し、明るい未来に向けて「労使相互信頼・相互責任」の精神のもと、愚直に汗をかいてまいる所存です。

デンソー労働組合は2021年にビジョンを策定いたしました。

その中には「自らの生きる、働くを、2m前に進められる組合員の集団に」という言葉があります。これは、人の平均的な歩幅である1mに留まらず、ストレッチした目標である「2m」に挑戦し続けるという意味を持っています。

組合員一人ひとりが現状に満足することなく、明日の2mに向けて努力し、前進を果たしたならば、それを当たり前と思わずに次の2mに向けてさらなる一歩を踏み出す。

常に今を当たり前とせず、2m前へ進むことを意識し、挑戦し続けることこそが、組合員一人ひとりの未来を切り拓き、デンソーの持続的成長と発展につながっていく。

そう信じて、諸活動を力強く推進してまいります。

結びに、80年の歴史に誇りを持ち、未来への挑戦を胸に、多くの仲間の皆様と共に歩み続けてまいります。常に感謝の心を忘れず、次の90年、100年に向けて導いていく確固たる意志を持って、次の世代へと襷を繋いでいくことをお誓い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。



自らの生きる、 働くを、 2m 前に 進められる 組合員の集団に

現状は、波のように変わるもの

ビジョンを心の羅針盤とし、
ありたいと望む姿(北極星)に
向かい、考え・行動し近づく



デンソー労働組合 執行委員長 靄川隆行